

## 情報連絡員報告・4月分

## 売上高、収益状況、業界の景況DI値、すべて悪化

&lt;東京都中央会&gt;

4月の情報連絡員報告によると、製造業・非製造業ともに売上高、収益状況、業界の景況DI（前年同月比）値が悪化した。前月は大幅に好転し、プラスに転じた非製造業の売上高は約10ポイント以上悪化し、再びマイナスに転じた。

「業界の声」からは『非鉄金属が再び高騰し、利益なき繁忙状態が続いている』、『銅製品をはじめとする素材の値上がりがみられ、採算圧迫の要因となっている』等の報告がよせられた。製造業64人、非製造業86人、計150人の集計

## 業界の声

## 特記事項欄より

## 「化学・ゴム」

- ・景気回復といわれるが業界の景況は頭打ちであり、中小企業は特にきびしい。組合員にも民事再生法の手続きを経た企業が2社あった。業界不振のなかで多角的経営を試みた結果が裏目にでた感がある。（塗料製造業）

## 「鉄鋼・金属」

- ・4月後半になり非鉄金属が再び高騰し、利益なき繁忙状態が続いている。（鋳物製造業）

## 「電気機器」

- ・売上等、昨年同様に堅調に推移しているが、ここにきて銅製品をはじめとす

る素材の値上がりがみられ、採算圧迫の要因にもなっており、先行きに若干の不安がある。（配電盤機器製造業）

## 「その他製造業」

- ・新年度を迎え、事務用品全般・学用品等の需要が増える時期にあり、加えて大型商業施設の開業ラッシュで店頭商品展示スペース増加に伴う出荷が増加傾向にある。（紙製品製造業）

## 「卸売業」

- ・ニット業界全体としては横ばい状態が続いている。今夏のクールビズ商戦に向けて準備がすすめられているが、天候が順調に推移してくれることを願う。（織物卸売業）

## 「小売業」

- ・前月より売上が増加した。入社・入学シーズンの需要期であることからなのか、景気が真に回復したのか、今後の動向が注目される。（文具小売業）
- ・販売の柱となっている薄型テレビの価格低下が量販店で顕著であり、地域店へも大きく影響がでている。他の製品の一部で高付加価値化による単価アップがはかられているが全体に貢献するほどではない。（電気機械器具小売業）

## 「サービス業」

- ・桜の開花とともに繁忙期に入ったが、思ったよりも需要増は期待できない。昔はクリーニング品が置き場に困るほど集まり、連日の夜なべ仕事で処理していたのだが。（洗濯業）

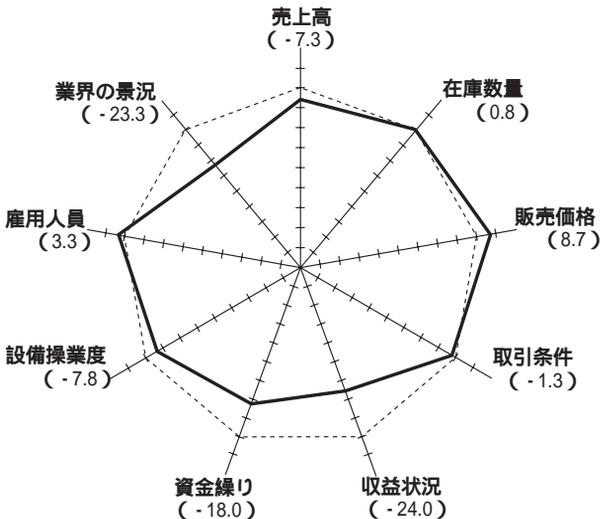
## 「運送業」

- ・軽油の値上げが収益に大きく影響している。2月から4月で組合員2社が倒産、1社が廃業した。（貨物自動車運送業）

## &lt; 要望事項欄より &gt;

- \* 中協法の改正で総会・理事会の日程調整が困難となっている。法律通りに開催できる組合があるのか、疑問である。（織物製外衣・シャツ製造業）
- \* 組合の事務手続きについては事業規模の大小に分けて、小規模の組合は簡素化してもらいたい。（家具卸売業）
- \* 駐車違反取り締りについては組合員の営業形態を考慮して、配達中には取締りを緩和してほしい。（理容品卸売業）

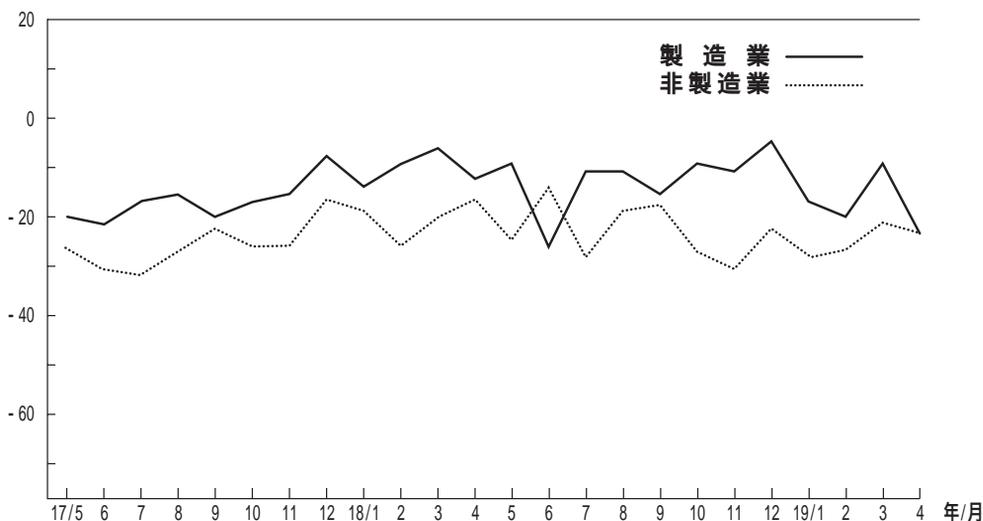
4月のレーダーチャート（全産業、前年同月比DI値）



(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

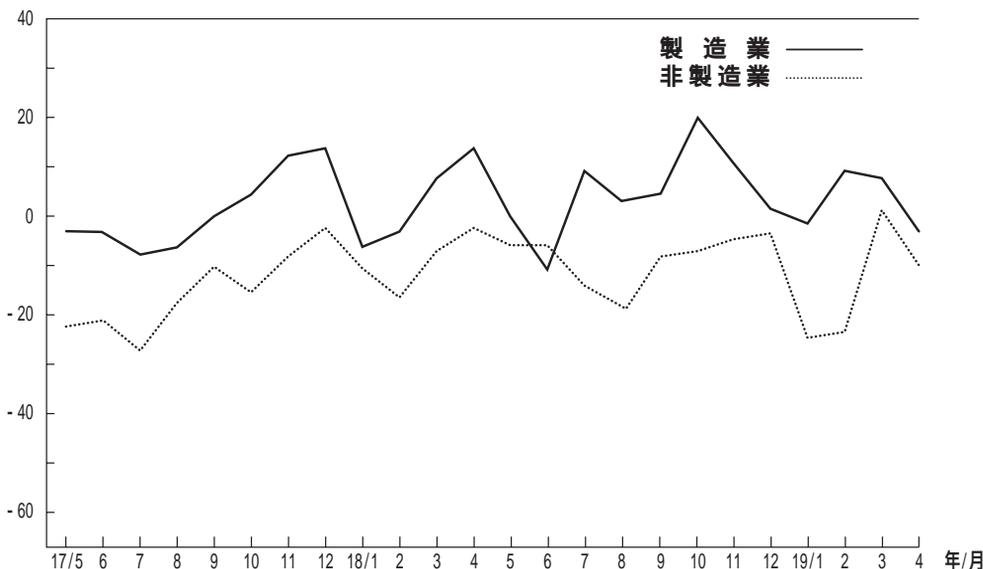
業界の景況DIの変化 (H17.5 ~ H19.4)

(前年同月比)



売上高DIの変化 (H17.5 ~ H19.4)

(前年同月比)



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。